

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第62期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社サンゲツ
【英訳名】	SANGETSU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 日比 祐 市
【本店の所在の場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052（564）3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上 原 健
【最寄りの連絡場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052（564）3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上 原 健
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第1四半期 連結累計期間	第62期 第1四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	29,803	30,263	123,150
経常利益(百万円)	1,272	2,231	8,393
四半期(当期)純利益(百万円)	682	1,388	4,806
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	580	1,768	5,737
純資産額(百万円)	118,485	117,897	117,672
総資産額(百万円)	139,253	137,528	139,205
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	17.02	36.43	120.52
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	85.1	85.7	84.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、金融政策や経済対策の効果による円高修正、株価上昇などを背景に、景気回復への持ち直しの動きが感じられたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や欧州の財政不安の長期化などにより、先行き不透明な状況が続きました。

住宅市場では、新設住宅着工戸数が今年1月から6月までの累計で前年比8.6%の増加となり、堅調な回復傾向にあります。

このような状況の下、市場の要求に応えた環境負荷低減商品、各種機能性商品などを開発し、新築のみならずリフォーム市場や非住宅市場への販路拡大など幅広く営業活動を展開し、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高30,263百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益2,039百万円（同40.0%増）、経常利益2,231百万円（同75.3%増）、四半期純利益1,388百万円（同103.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(インテリア事業)

インテリア事業では、福岡ショールームを9年ぶりに全面改装し、5月にリニューアルオープンいたしました。約13,000点の商品を見やすく機能的に展示するとともに、住居スペースを中心としたモデルブースを新たに設置し、壁紙からカーテン、床材までトータルでコーディネートした空間を分かりやすく提案しました。

4月に中間価格帯の壁紙を収録した見本帳「ファイン1000」を改訂発売しました。収録した壁紙は全点シックハウス規制の最上位認定を受けており、また、医療、高齢者施設でも安心して利用できる消臭機能壁紙「不燃認定・ルームエアー」に表面強化タイプを加えるなど、機能性壁紙を充実させております。

その他既発行の見本帳収録商品の拡販にも努めた結果、インテリア事業における売上高は26,023百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は2,008百万円（同44.9%増）となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンでは、企業間競争の激化などにより厳しい状況が続いておりますが、販売促進キャンペーンの拡大など積極的な営業活動を積み重ねております。これらの結果、エクステリア事業における売上高は3,529百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は105百万円（同20.0%増）となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、急速に進む照明のLED化に対応し、可動式アームスタンド「Zライト」などLED照明の拡販に注力しましたが、照明器具事業における売上高は715百万円（前年同期比21.9%減）、営業損失は73百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は、26百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	159,000,000
計	159,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,188,240	40,188,240	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	40,188,240	40,188,240		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	40,188	-	13,616	-	20,005

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	
議決権制限株式(その他)	-	-	
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,088,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 38,072,900	380,729	
単元未満株式	普通株式 26,940		
発行済株式総数	40,188,240		
総株主の議決権		380,729	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」は、全て当社所有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンゲツ	名古屋市西区幅下一丁目4番1号	2,088,400	-	2,088,400	5.19
計		2,088,400	-	2,088,400	5.19

(注) 当第1四半期会計期間末(平成25年6月30日)の自己株式は、2,088,500株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合5.19%)となっています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,919	20,785
受取手形及び売掛金	2 42,886	2 41,878
有価証券	20,007	20,024
商品及び製品	10,160	11,306
原材料及び貯蔵品	1,454	1,464
その他	1,011	700
貸倒引当金	161	158
流動資産合計	98,278	96,001
固定資産		
有形固定資産		
土地	20,243	20,243
その他(純額)	7,621	7,575
有形固定資産合計	27,865	27,819
無形固定資産		
その他	328	321
無形固定資産合計	328	321
投資その他の資産		
投資有価証券	4,619	5,369
その他	8,966	8,859
貸倒引当金	853	843
投資その他の資産合計	12,732	13,385
固定資産合計	40,926	41,526
資産合計	139,205	137,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 12,355	2 12,512
短期借入金	20	-
1年内返済予定の長期借入金	24	24
未払法人税等	2,182	670
賞与引当金	954	470
その他	2,277	2,153
流動負債合計	17,813	15,831
固定負債		
長期借入金	115	110
退職給付引当金	2,629	2,693
役員退職慰労引当金	79	80
長期未払金	418	418
その他	475	496
固定負債合計	3,718	3,798
負債合計	21,532	19,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	87,146	86,991
自己株式	4,587	4,587
株主資本合計	116,180	116,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,492	1,872
その他の包括利益累計額合計	1,492	1,872
純資産合計	117,672	117,897
負債純資産合計	139,205	137,528

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	29,803	30,263
売上原価	21,519	21,669
売上総利益	8,283	8,593
販売費及び一般管理費	6,827	6,554
営業利益	1,456	2,039
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	33	43
不動産賃貸料	24	21
為替差益	-	91
その他	40	32
営業外収益合計	108	195
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	1	1
為替差損	287	-
その他	2	1
営業外費用合計	292	3
経常利益	1,272	2,231
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損	58	-
特別損失合計	63	10
税金等調整前四半期純利益	1,209	2,220
法人税、住民税及び事業税	323	655
法人税等調整額	203	177
法人税等合計	526	832
少数株主損益調整前四半期純利益	682	1,388
四半期純利益	682	1,388

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	682	1,388
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	102	380
その他の包括利益合計	102	380
四半期包括利益	580	1,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580	1,768

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	231百万円	235百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第1四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	1,614百万円	1,427百万円
支払手形	221	234

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	246百万円	230百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,504	37.50	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,543	40.50	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	25,458	3,439	906	-	29,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	10	10	-
計	25,458	3,439	916	10	29,803
セグメント利益又は損失()	1,385	87	15	1	1,456

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	26,023	3,529	710	-	30,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	5	5	-
計	26,023	3,529	715	5	30,263
セグメント利益又は損失()	2,008	105	73	0	2,039

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	17円02銭	36円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	682	1,388
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	682	1,388
普通株式の期中平均株式数(千株)	40,122	38,099

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月2日

株式会社サンゲツ
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部 則夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部 一利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンゲツの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンゲツ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。